

竜胆

りんどう

2023年(令和5年)3月20日 発行

昭和薬科大学附属高等学校・中学校 PTA 発行人 知念 武史
〒901-2112 浦添市沢峠450 ☎098-870-1852

印刷: iRYUKYU (写真: 広報部・学校・保護者)

PTA会報
第171号

～卒業 感謝を胸に～



卒業おめでとう47期生 (201名)

コロナに負けず頑張った3年間でした



昭和美科大学附属高等学校 校長 諸見里 明

式辞

心地好い春の薫りの漂う本日の佳き日に、昭和美科大学元木和幸理事長、同宇都宮事業担当理事をはじめご来賓、ご父母の皆様のご臨席のもと、昭和美科大学附属高等学校卒業式が挙行されますことに、在校生、職員一同、心から厚く御礼申し上げます。

只今、二〇二〇名の卒業を認定し、一人一人に「卒業証書」を授与いたしました。ご父母の皆様、今日までご苦労を重ね、手塩にかけて育ててこられた我が子が、本校での六年間で立派に成長し、本日の晴れの姿をご覧になってさぞかしお喜びのことと拝察いたします。お子様のご卒業まことにおめでとうございます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。卒業生の皆さんは覚えておられますか。皆さんは、六年前に本校中学校入学式において、校長の私から入学が許可されました。まだ小学生のあどけなさの残る皆さんが、緊張する面持ちで私の入学式辞に聞きいっていきま景がまるで昨日のように思い出されます。

さて、皆さんが卒業するにあたり一つのエピソードを紹介いたします。大分前のことになり記憶も曖昧になりがちですが、ある雑誌にアメリカ航空宇宙局(NASA)における宇宙飛行士の採用に関する記事が載っておりまして。宇宙飛行士は全世界から公募するのだから、当然ながら世界中から素晴らしい人材が我も我もと応募してきます。千人を優に超えてくる志願者たち一般教養や語学試験及び身体能力面、基礎的なものからいくつかの専門分野に関する試験を課してきます。NASAの人事担当者たちは、最終的に十数名にまで絞り込まれた志願者たちと一緒に合宿生活に入るそうなのです。一般教養や専門分野に優れた語学力も抜群であり身体能力面でも秀でていた彼らとの集団生活の中からNASAの採用管たちが見極めたのは何だと思えますか。それこそは、彼らの内面に有する協調性を見極めることにあるというのです。

この時、私ははっとしたのを覚えております。この物語は宇宙飛行士にだけ当てはまるものではありません。人間生活において欠くことのできない普遍的な要素だと考えてみてほしいと思います。長い期間にわたり協調するということ、謙虚さ、思いやりの心、敬愛の念、慈しみなどがなければ生まれてこられないのです。人間とは社会的な動物です。私たちは、人間社会の中で多くの人と出会い多くの価値観とのぶつかり合いの中で生きていかなければなりません。家族関係はもちろんなこと人間関係においてか思いやりの心などがなければ決してうまくいかないものなのです。

卒業していく皆さんに改めて言いたい。皆さんはこれからは果敢とていく長い社会生活の中で、自己主張し我が流儀でぶつちぎろうと押し通すのも時によっては必要かもしれませんが、しかしながら、ある時にはふと立ち止まってこの協調性というのをぜひ思い出してほしいと思えます。そこには人間生活を円満に生き抜く必要不可欠な何かが含まれているように気がするからです。



学校法人 昭和美科大学 理事長 元木 和幸

祝辞

本日、ここに、第四十七回昭和美科大学附属高等学校卒業式を挙行するに当たり、一言お祝いを申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、本校の教育を支えていただいた保護者の皆さんに、祝意を申し上げますとともに、心から御礼を申し上げます。

本来ですと今日のこの卒業式は、大勢のご家族の皆さん、在校生に祝福されながら晴れて卒業できたことを喜び合う日です。しかし、新型コロナウイルスによる感染症対策の一環として、昨年同様、規模を縮小して卒業式を実施することを決定しました。今回卒業を迎える皆さん、本校の在校生におかれましては、この日を心待ちにされていたことと思えます。皆さまのお気持ちを考えると大変心苦しいのですが、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

本日の卒業式は、本校関係者にとりましてこの上ない大きな喜びでございます。中学校の入学式でお会いした幼い生徒達が、六年の歳月を

満ちた枝を張り、たくさん葉を繁らせて下さい。他人を思いやることのできる木陰には自然と人が集まるものです。

皆さんは青春の六年間、この学び舎で過ごすことのできた、ほんの一握りの恵まれた人達です。これを決して当たり前のこととは思わず、育ててくださった両親への感謝は無数のこと、自分を取り巻く多くの人々や自然に対しても常に謙虚で「守礼」を重んじる人間に成長してください。そして琉球王朝時代から「舟楫を以て万国の津梁となす」と言われる様に、アジアの懸け橋と位置付けられてきた沖縄の若者らしく、広い世界で見聞を深め、あらゆる知識を吸収しながら新たな「絆」を獲得してください。皆さんが本校で育んだ豊かな個性をさらに高め、皆さんの夢を叶え、社会に貢献できる人材になれるよう心から願っています。

卒業する四十七期生の高校生活は常にコロナとの戦いだったと思います。休校、分散登校、オンライン授業、イベントの自粛、不安な日々を強いられ、残念な事柄が多かったと思います。その中で、子供達は逞しさを、忍耐力、感謝を、心身を身に付け、堅忍不拔の精神を培い、後輩たちに道を示してくれました。試練を乗り越え、苦労した分大きく成長した学年だったと思います。その頑張ってきた思いが報われるように、最後の最後になりどう祭を開催することができ、高校生活の集大成を飾ることができたのではないかと思います。

生徒の皆さんの夢をかなえるために、コロナの厳しい状況の中、先生方は、沖縄県との調整、学校での度重なる協議、不慣れたオンライン授業の整備など、苦心して授業を作ってくださいました。そして精神的にも不安定になりがちな生徒の心に寄り添ってくださりました。先生方の献身的な姿勢に大変感謝いたします。子供達をここまで育てていただきありがとうございます。

- ### 式次第
- 一 開式の辞
 - 二 校歌斉唱
 - 三 学事報告
 - 四 卒業認定
 - 五 校長 諸見里 明
 - 六 卒業証書授与
 - 七 賞状賞品授与
 - 七 式 辞
 - 八 校長 諸見里 明
 - 九 祝 辞
 - 九 理事長 元木 和幸
 - 十 祝電披露
 - 十 PTA会長 知念 武史
 - 十一 送 辞
 - 十一 生徒会長 西平 峻
 - 十二 答 辞
 - 十二 卒業生代表
 - 十三 記念品贈呈
 - 十三 喜友名 孝明
 - 十四 式 歌
 - 十四 田島 佑真
 - 「旅立ちの日」
 - 「旅立ちの日」
 - 十四 閉式の辞
 - 司会 教諭 田里 友基

【広報部より】感染拡大防止で元木理事長は参加されていないため顔写真は過去のものを使用しています。

感謝を胸に門出祝う

お父さん、お母さん僕たちを信じ
支えてくれてありがとう



卒業生代表あいさつ

第四十七期生徒会長
喜友名 孝明さん

季節が巡り、暖かさと共に寂しさを感じる時期になりました。僕達四十七期生は、今日、昭和薬科大学附属高等学校を卒業します。振り返ると、中高六年間の思い出が鮮やかによみがえります。緊張して、初対面の子に話しかけることをためらった入学当初。それでも、なんとか距離を縮めようとして話しかけ、徐々に仲良くなっていききました。そして、仲間と自転車で遠出をしたり、クラスで力を合わせて学校行事に取り組んだりしたことで、さらに仲を深めました。しかし、新型コロナウイルスの流行により、僕達の高校生活は大きく制限されました。遊びに行くのは控えろ。打ち上げはするな。大勢が集まるイベントは中止。憧れていた高校生らしい生活はなくなりました。高校一年次では、学校行事が軒並み中止となり、味気ない高校生活を送らざるをえませんでした。それでも高校二年次では、先生方のご尽力によりなんとか修学旅行に行くことができました。大阪や京都を巡り、非日常を体験しながら、友達との絆を深めました。高校三年次では、りんと祭でクラス一丸学年一丸となつて演目を成功させ、最高の思い出を作ることができました。そんな僕達の六年間は多く

在校生代表あいさつ

第四十八期生徒会長
西平 峻さん

肌を震わす冷たい風も日に日に和らぎ、暖かな春が近づいてきました。本日、晴れてこの昭和薬科大学附属高等学校の卒業式を迎えられた四十七期生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝いを申し上げます。

一日一日が過ぎ去るのはあっという間で、先輩方の卒業する日、今日が訪れてしまいました。私が入学して間もない頃、移動教室の際に場所がわからず、廊下で迷っていると、優しく声をかけ、移動先まで連れていってくださいました。また、給食を教室まで運んでいる途中で食缶をこぼしてしまつたときにも、多くの先輩方が即座に一緒に片づけを手伝ってくださいました。そのような先輩方の姿が、私たちの目には憧れの存在として映っていました。

部活動では、中学生の時から笑顔で迎え入れてくださり、五年間一緒に練習を行うことができました。練習中は時に厳しい指導もありましたが、それ以外は優しく、常に笑顔の先輩方と過ごせた時間はとても有意義で楽しいものでした。そのような先輩方から私たちがオンオフの切り替えの大切さを学びました。目標に向かって励むときは全

の方々に支えられて成り立っていました。

僕達の師であり、時には友のようであった先生方。勉強面でのサポートはもちろんです。僕達の悩みを聞いてくれたり、間違いを正してくれたらりと、生活面においても僕達を支えてくださいました。合唱コンクールや球技大会、修学旅行やりんどう祭などでは、一緒に頑張って盛り上げてくれました。そんな先生方がいたからこそ、僕は立派に成長できたと思います。

事務室や進路指導部、食堂のスタッフの方々、バスの運転手の方々。皆様のサポートがあったからこそ、僕は快適に、安心して学校生活を送ることができたと思います。

明るく、元気な後輩達。部活動や生徒会活動を共にするなかで成長していく様子を見てみると、とてもたのしく感じました。りんどう祭や予餞会では、より一層そう感じられました。これから、二つ上の学年としてますます充実した学校生活を送ってください。

そしてお父さん、お母さん。いつもおいしいご飯を作ってくれてありがとう。学校への送迎をしてくれてありがとう。部活動や習い事をさせてくれてありがとう。たまに喧嘩をすることもあったけれど、進路のことでもぶつかることもあったけれど、最後には僕達を信じて送り出して

力で努め、息抜きをするときは思いっきり切れるということ、部活動だけでなく、勉強や生活面においても非常に重要なことであることに気づかされました。

先輩方と過ごした時間、楽しかったこと、大変だったこと、頑張ったこと、一緒に悔しい思いをしたこと、数えきれないほどのたくさんさんの思い出があります。ありがとうございます。一年後には、先輩方のように昭和薬科で六年間過ごしてきたことを誇りに思い、笑顔でこの日を迎えられるよう、努力を惜しまず頑張ってください。

最後になりましたが、ご卒業本当におめでとうございます。そして、これまでありがとうございました。これから、それぞれ新たな道へ進んでいくことかと思えます。様々な困難にも出合うと思いますが、在校生一同、応援しています。先輩方のキラキラした明るい未来とご活躍を祈念して、在校生代表の挨拶とさせていただきます。



令和5年2月4日第一体育館にて令和4年度高校卒業式が挙行されました。卒業する201人は新型コロナウイルス感染拡大で激変した学校生活の苦難と思い出を振り返りながら門出を祝い合い、式の最後に卒業生全員で先生や両親に感謝の気持ちを伝えました。

取材/広報部 照屋、仲嶺



くれたね。この六年間、恥ずかしくて言えなかったけれど、今まで育ててくれて本当にありがとう。帰る場所があるから、僕達も旅立ち、挑戦し続けることができます。これからの僕達の頑張りを見守ってください。

最後に辛い時も楽しい時も共に歩んできた四十七期生みんな。一緒に学んでおしゃべりをする。そんな何気ない日常が僕は好きでした。卒業してそれがなくなってしまうのは寂しいけれど、ここで過ごした六年間は一生の宝物です。ありがとう。また会おう。

本日、このような素晴らしい卒業式を催してくださった関係者の皆様。そして、お忙しい中臨席してくださったご来賓の皆様、保護者の皆様。心より感謝を申し上げます。まだまだ未熟な私たちですが、悩むことがあっても、諦めそうになつたとしても、前に進み続けることを誓います。昭和薬科大学附属高等学校、中学校のますますのご発展とご多幸を祈念し、答辞の結びとさせていただきます。



卒業式の風景

在校生が体育館から教室まで花道を作り卒業生をお祝いしました。

令和4年11月14日

令和4年度 文化講演会

演芸集団 F E C 「お笑い米軍基地」

感想文

高校生徒会長/西平 峻

今月14日にお笑い米軍基地さんによる講演がありました。私たちは中学一年生のときに一度見たことがあったので、あの時の楽しかった気持ちを思い出して、この日を楽しみにしていました。講演では、米軍基地や戦争についてのいくつかのコントを見ました。戦争が終わって以来、今日までずっと沖縄県民が悩まされてきた米軍基地による様々な問題、県民の切実な思いを改めて強く感じました。

もちろん、今回の講演から得た視点がすべてではないと思います。ですが、この講演で改めて沖縄の問題に触れることができたと感じます。より今後の沖縄や基地問題について関心を持ち、未来を担う一員として考えていきたいと思っています。



「お笑い米軍基地」のお礼の挨拶文

中学生徒会長/手塚 瑛麻

今日は私たちのためにこのような公演をして下さり、ありがとうございました。私は今まで、基地問題について自ら知ろうとしたり学ぼうとしたりしてこなかったのですが、今回、基地問題を「お笑い」という形で見ることで、楽しく学ぶことができました。私は特に、「歌のお兄さん」が面白くて、分かりやすかったです。

今回の講演を通して、基地問題は私たちにとって身近な問題であり、自分自身で学び、自分の考えを持つことが大切だと分かりました。これからは、基地問題について、もっと真剣に考えていきたいと思っています。今日は本当にありがとうございました。

令和4年度

令和4年12月15日

中学校校内合唱コンクール

日々の音楽の授業を十分に発揮し、クラスが一致団結協力して個性あふれる美しいハーモニーを創り出す



合唱コンクール結果

- ・グランプリ..... 中3E
- ・1年学年賞..... 中1A
- ・指揮者賞..... 野原衣留(A)
- ・伴奏者賞..... 徳元皇介(A)宮城圭吾(C)
- ・2年学年賞..... 中2E
- ・指揮者賞..... 新本悠真(A)赤嶺厚太(E)
- ・伴奏者賞..... 工藤汐莉(A)大城希実(E)
- ・3年学年賞..... 中3B
- ・指揮者賞..... 山内大河(D)新垣慶人(E)
- ・伴奏者賞..... 森山咲紀(C)

合唱曲

中1

クラス	合唱曲	指揮者	伴奏者
1-A	空駆ける天馬	野原 衣留	徳元 皇介
1-B	この星に生まれて	仲原 親宏	東 亜莉沙
1-C	怪獣のパラード	我如古 梁馬	宮城 圭吾
1-D	旅立ちの時~Asian Dream Song~	山城 茉琉	久保田 雛子
1-E	MY OWN ROAD~僕がつくる明日~	望月 咲希	與儀 敦仁

中2

クラス	合唱曲	指揮者	伴奏者
2-A	島唄	新本 悠真	工藤 汐莉
2-B	心の瞳	桑江 朝日	仲村 美海
2-C	COSMOS	奥浜 かな	古屋 妃那
2-D	大切なもの	伊藤 豪士	根路銘 百明
2-E	大切なもの	赤嶺 厚太	大城 希実

中3

クラス	合唱曲	指揮者	伴奏者
3-A	手紙	赤嶺 茉琉	具志 花音
3-B	手紙	喜納 康太	宮平 湊
3-C	あなたへ~旅立ちに寄せるメッセージ~	仲里 祐輝	森山 咲紀
3-D	道	山内 大河	宮城 さや
3-E	YELL	新垣 慶人	赤嶺 遥都

中学合唱コンクール感想

中学生徒会長/手塚 瑛麻

今回の第37回合唱コンクールは、私たち中学3年生にとって最初で最後の合唱コンクールとなりました。合唱も運営も何もかもが初めてでしたが、生徒みんなで力を合わせ、素晴らしい歌声を会場に響かせることができました。表彰式では、生徒全員が個人そしてクラスの健闘を讃え、会場全体が盛り上がっていることを強く感じました。中学1、2年生の時もやりたかったと思えるような、楽しく、感動する合唱コンクールでした。生徒一人一人にとって、今回の合唱コンクールが大切な思い出になっているといいな、と思います。

令和4年度 令和4年11月22日

PTA主催 学術講演会

企業におけるデータサイエンティストとは ~データ活用と事業成長~

現在注目されている「データサイエンティスト」、日本や世界の経済の中心で今まさに活躍されているAll Nippon Airways西郷彰氏を講師にお招きし企業におけるデータサイエンティストとは~データ活用と事業成長~と題しご講演頂きました。

これから先の生徒には必要不可欠なデータ最先端技術について興味津々な生徒の質問にもご回答いただきとても有意義な講演会となりました。



高校
1年生

クラス懇親会報告

コロナ感染防止対策の制限も徐々に解除され、少しずつできることが増えた今日この頃。
3年ぶりのクラス懇親会開催となりました!

【A組保護者から】

クリスマス柄の袋に詰められたお土産を手に、これまでなかなかできなかった保護者同士の交流を行いました。昨年度の学級で作成したビデオを鑑賞しながら思い出話に花をさかせたり、最近の生徒の様子について情報交換をしたりし、有意義な時間となりました。

【C組保護者から】

クラス懇親会はコロナため中止が続いていたため、中1依頼のクラス懇親会の開催となりました。3年ぶりということもあり、クラスを超えて歓談できるようにと今回のビデオ鑑賞を企画しました。ビデオを楽しんだ後は、あちらこちらで保護者同士の歓談に花が咲いたようです。

たくさんの保護者に出席頂き、また、先生方のご協力もありがとうございました。

【E組保護者から】

保護者同士で顔を合わせる機会は保護者にとっても好評だったようで、多くの保護者から「またこの形式でもいいと思います」との声が聞かれました。進路や課外活動、学校生活について情報を共有するうえでも、ざっくばらんに話ができる機会を増やしてもいいと感じました。

【B組保護者から】

(担任からのお話は)時間の関係上急いでの説明になりましたが真剣に、丁寧にお聞きくださりありがとうございました。高校1年生も残すところあとわずかですが子供たちとともに頑張っていきますので今後ともご協力お願いいたします。

【D組保護者から】

高校1年の学級懇談会では、それぞれ中3のクラスに移動して子どもたちが作成したビデオを初めて鑑賞しました。まだあどけなさが残る中学生時代の姿を懐かしみながらダンスやショートムービーなど、子どもたちの豊かな感性で作られた映像で楽しいひと時を過ごしました。お菓子和飲み物を準備したのですが、コロナの影響か食べながら談笑している方は少なかったように感じました。次年度はぜひゆっくり飲食しながら懇談できるといいなと思いました。みなさまのご参加ありがとうございました。



★おりがみツリー★

沖縄県立南部医療センター・こども医療センターの利根川尚也・小児総合診療科医師(37)の発案で9年前に始まった折り紙で作成した「おりがみツリー」。子どもたちや家族、医師や看護師などが一つ一つ折り上げた折り紙をつなぎ合わせ、一つの巨大なツリーにして飾った。

令和4年の今年は、本校40期卒業生で南部医療センター初期研修医の富浜真美子さんとのご縁もあり、生徒会を中心に呼びかけをおこない「折り紙」を募集した。

令和4年12月2日(金)14:00より南部医療センターの利根川医師・本校卒業生富浜真美子医師にもご来校いただき、生徒作成の折り紙の授与式を行った。

様々な願いの込め折り上げた作品の数々、南部医療センター・こども医療センターに吊り上げられたツリーには大きな折り・思いが形となり輝きます。

★お礼状★



令和4年12月2日(金)14:00より南部医療センター・本校卒業生富浜真美子医師にもご来校いただき、生徒作成の折り紙の授与式を行った。

沖縄県立南部医療センター
こども医療センター
総務課長 富浜真美子



中学 学年講演会・クラス懇親会報告

中学1年

★クラス懇親会★

保護者同士の親睦を深める事、情報交換をして共通理解を図ること等を目的にクラス懇親会を実施しました。クラスの雰囲気や子供達の学校生活の様子も知ることができ、短時間でしたが有意義な時間がもてたと思います。

中学1年A組 与那覇 エリ子

保護者同士の親睦を目的に学級懇親会を開催し、生徒から出された質問について話し合いました。会の終盤には「うちだけじゃないんだと安心した」との意見もあり、保護者の気持ちも明るくする事にも繋がりました。

中学1年B組 吉元 真秀

クラス担任を交えた保護者同士の交流の場として、教室にてクラス懇親会を開催。短い時間でしたが、子供達の学校での様子や家庭での状況などを保護者間で共有でき、有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。

中学1年C組 山内 著史

生徒の家庭での様子についての保護者同士の情報交換を目的としてクラス懇親会を開催しました。当日は生徒の紹介、学校生活の様子、家庭でのスマートフォンの使用状況等について参加者全員で情報交換を行いました。

中学1年D組 照屋 絢

コロナ禍の折、同日開催された学級PTA後にクラス懇親会を開催した。30名の保護者が参加し、担任の中尾先生のサポートの下、5~6人程度の5つのグループに編成し、子供達の姿や保護者の思いや不安を交換した。

中学1年E組 吉田 安規良



★学年講演会★

生徒指導主任の阿波根先生が「本校の中学生の状況」の演題で校内トラブルや不登校の要因について講演頂きました。また、スクールカウンセラーで臨床心理士・公認心理士の国生先生が「思春期の理解と接し方〜カウンセラー室より〜」の演題で子供たちの本音や親に望むこと、親の子供との接し方や心構えについて講演頂きました。

第1子という保護者も多く、思春期の子供の対応に悩む保護者にとって有意義な時間となりました。



中学2年

★クラス懇親会★

例年なら飲食店等で実施している保護者同士の懇親を入学してから初めて実施しました。親が子に対してもつ悩みは大体同じようで、それぞれの輪で話が盛り上がっていました。

中学2年A組 斎藤 真樹

親睦、情報交換を通して保護者の不安軽減と生徒のより良い学校生活へと繋がたく開催致しました。会は子供紹介から始まり、各家庭のゲーム、ネット視聴の状況方針について話を伺うことができました。

中学2年B組 比嘉 香

学級懇談会後に懇親会を開催しました。先生のアイデアでゲーム方式でスタート。ルールに従っていくと、一つの輪になり、パーフェクトに繋がった輪に拍手もあがる中、和気あいあいとした雰囲気が始まりました。保護者は思い思いに話していき、時間が過ぎる程、楽しい会となりました。共通していた事は、2-Cはとても仲良しで楽しくて、子供達はのびのびと過ごして安心しているという事でした。

中学2年C組 大城 千登勢

お子さんの学校での様子を担任より伝える機会を設けるため。また同世代に子供を持つ親同士、今抱えている悩みや最近してもらって嬉しかったことなどをお互いにシェアすることで大いに盛り上がり子育ての示唆を得た。

中学2年D組 加藤 陽一

今年度初の対面懇親会を開催する事が出来ました。子供に抱く様々な思いや勉強への取り組み方、普段の生活や部活動について等々、保護者同士でシェアする時間は、マスク越しながらも話が尽きず笑顔が溢れました。

中学2年E組 眞喜屋 陽子



中学3年

★学年講演会★

コロナ禍で父兄の懇親会が開けず、情報交換もできない状況の中、「何とか集まる機会を作れないか」評議員の皆と先生方と一緒に話し合ってきました。今回、スクールカウンセラーの国生先生に講演会をして頂いた事で、親御さん達の不安が少しでも解消されたのであれば良かったと思います。学年懇親会という名目で開いた講演会でしたが、参加した父兄の皆さんの評価が気になる所です。お手伝い頂いた先生方、ありがとうございました。

中学3年B組 石原 久美子



★クラス懇親会★

50期生は、中学入学以来ずっと、コロナの影響を受けてきました。学校や先生方と相談し、持ち帰りの茶菓子ならOKとの事で、懇親会を開催できました。これを機に保護者同士も交流を深めたいと思います。

中学3年D組 堀 麻里

学級PTAのあとに、参加者一人一人の自己紹介や、子供達に関する情報交換を行いました。それぞれの保護者のお話にも、みなさん「うちうちも」と頷いており、とても有意義な時間を過ごすことができました。

中学3年E組 金城 愛恵

第2回評議員会

12月22日

12月22日各専門部員や評議員の方に集まりいただき、多目的ホールで評議員会を開催しました。知念PTA会長より今年度のPTA活動報告を頂き、各専門部長、評議員、各主任の先生方より報告を頂きました。



校内美化作業

1月7日



1月7日(土)かねてより延期となっていたPTA校内美化作業(草刈り)が行われました。

幸い天候も良く暖かな日差しのもと、中高生保護者の方々・生徒・職員ら合わせて約90名の参加となりました。

作業は主に雑草の多かった記念館周辺や運動場沿いの側溝など広範囲でしたが、皆さんの頑張りで見ると袋の山ができていました。お父さんたちは重い物を運んだり、お母さんたちはお子さんと一緒に花の苗を花壇に植えたりする姿も見られました。見渡すと校内が更に綺麗になり、清々しい気持ちになりました。

作業後は、PTAから美味しいおやつとお茶の差し入れをいただき疲れも吹っ飛び・・・笑顔で解散しました。ご協力いただいた皆様、大変お疲れ様でした!

取材 広報部/小那覇



編集後記

今年度もあっという間に残りわずかとなりました。振り返ってみると、秋口あたりから行事が徐々に増えたことで子ども達の笑顔にも多く出会えた気がします。このかけがえのない思い出を胸に歩いていって欲しいと願うばかりです。

広報部は、照屋広報部長の熱い思いに引っ張られてここまでできました。

本号が最終となります。これまでの撮影、取材協力に感謝申し上げます。

広報部/小那覇 涼子



ありがとう!

生徒指導部部長の比嘉敬さん、生徒指導部部長としてPTA活動にご尽力いただきました。今年度お子様と共に卒業となります。長きにわたりPTA活動にご協力頂きありがとうございました。